

育成モノづくり人材

Vol. 89

大阪府立今宮工科高校

大阪府立今宮工科高校の創立は1914年。機械系と電気系、建物の設計・施工管理を学ぶ建築系、地元



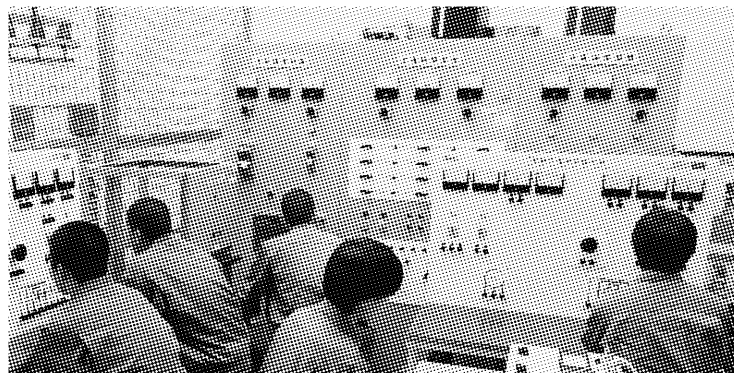
山崎校長

印刷業が多いことを踏まえたグラフィックデザイン系の専門4系統は、前身の今宮工業高校から続く。大阪府から、モノづくり意識の高い高度技術者の育成

高大連携 巣立つ工学系生

を狙う「高大連携重点型」高校の指定を受けている。2014年に設けた工学系が、高校時代から大学の研究活動を意識し、「(通算)7年かけ専門人材の育成」(山崎晃昭校長)に取り組み。長は「就職に資格を持つことは17歳以上に引き下げ、16年度に年齢制限を撤廃し、17歳以上が17歳以上で卒業できる。2014年に設けた工学系が、高校時代から大学の研究活動意識し、「(通算)7年かけ専門人材の育成」(山崎晃昭校長)に取り組み。

【DATA】▷校長=山崎晃昭氏▷所在地=大阪市西成区▷学科構成=工学系、機械系、電気系、建築系、グラフィックデザイン系▷生徒数=822人▷主要設備=汎用旋盤、フライス盤、数値制御(NC)旋盤、マシニングセンター、レーザー加工機、ガス溶接機、アーク溶接機など▷主な進路=関西電力、大阪ガス、新日鉄住金、三菱重工業、パナソニック、JR東海、近畿日本鉄道、豊橋技術科学大学、関西大学、立命館大学、近畿大学、大阪工業大学など



電動機制御の実習

JR西日本や私鉄、地下鉄、路面電車の阪堺電気軌道といった鉄道網が充実していること現場を知るもあり、活動の後押し教師などしている。「鉄道研究部が決め手で入学した生の活躍を期待する。実技を学んだ若手材を求め企業は多動も盛ん。現状、「すべての機械工作部求人に対応できないほど」だ。一方、入学者部といったの定員割れが課題。工科高校な「現場で若いうちから活がある。活躍したい生徒に、工科高校を知ってもらいたい」。中学生の普通科志向が高い中、アピールを続ける。

を生かし、リーダーシップを取れる人材になっしてほしい」と願う。気機関車の運転などを通し貢献する。近隣に

(大阪・安藤光恵)
(金曜日掲載)